

## 中央図書館臨時窓口 がオープンしました！

4月から中央図書館は耐震補強等改修工事に伴い休館しています。この度、5月1日から、田無庁舎の並びにあるイングビル3階の第4会議室に臨時窓口を開設しました。

■臨時窓口でおこなう主なサービスは、以下のとおりです。

※感染症対策として一部サービスを制限する場合あり。

- ①予約資料の受け取り
- ②資料の返却
- ③利用登録及び更新手続き
- ④予約の申し込み
- ⑤レファレンス（調べもののご相談）
- ⑥当月の新聞の閲覧 など



■臨時窓口について、次のようなお問い合わせが多く寄せられています。

Q臨時窓口の開いている日時は。

A中央図書館と同じです。平日は10時から20時、土日祝日は10時から18時。休室日も同様に月曜日、第3金曜日、年末年始です。市内各図書館で配布している図書館カレンダーをご覧ください。

Q駐車場や駐輪場はありますか。

A田無庁舎の駐車場や駐輪場をご利用ください。駐車は1時間無料になります。

Q車椅子やベビーカーで来室できますか。

Aイングビル内にエレベーターがありますので、安心してご利用ください。

Q閉室時に本を返却したいのですができますか。

A田無第二庁舎入口にブックポストを設置していますので、そちらをご利用ください。

詳しくは、各館で配布している「中央図書館臨時窓口」のご案内または図書館ホームページをご覧ください。ご不明な点等ございましたら、中央図書館臨時窓口にお問い合わせください。

**中央図書館臨時窓口 ▶ 電話番号 042-465-0823**

中央図書館で所蔵していた図書・雑誌・地域行政資料等の利用については、2ページと5ページで説明しています。

★声の広報をお届けしています。

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(Tel.042-421-4545)へお問合せを。

# 中央図書館休館中の資料・サービスについて

## 図書について

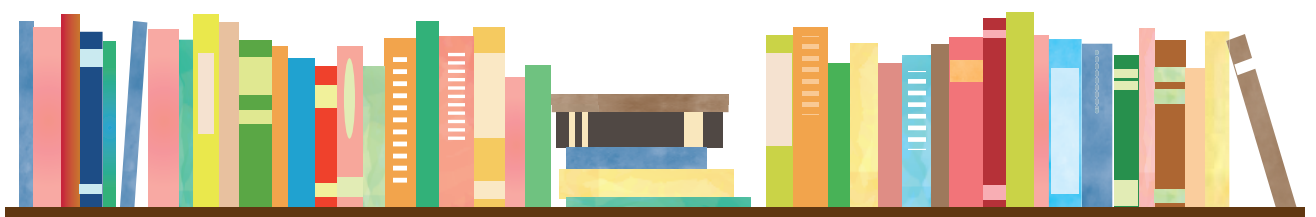
中央図書館で所蔵している図書資料は、一部資料を除き休館中はご利用いただけません。お探しの資料が見当たらない場合はお問い合わせください。

## 雑誌・新聞について

- 市内に複数所蔵があるものは、中央図書館を除いた地域館で所蔵している資料で貸出・予約に対応いたします。
- 中央図書館にのみ所蔵していたものは、当年度中は市内の各館に分散配置し、引き続きご利用いただけるようにしています。ただし所蔵スペースが限られるため、当年度以前のバックナンバーをご利用いただけないものがございます。どの館で何が閲覧できるかについては、WEB・検索機から詳細をご覧ください。各館窓口・お電話でお問い合わせください。
- 新聞は、イングリル3階臨時窓口で当月分をご覧ください。所蔵スペースが限られるため、バックナンバーはご利用いただけません。朝日小学生新聞は柳沢図書館に移管しています。

## 視聴覚資料について

- 中央図書館で所蔵している視聴覚資料は、修理等の必要なものを除き、すべて市内の各館に分散配置しています。お探しの資料が見当たらない場合はお問い合わせください。



## ■ 第4期西東京市子ども読書活動推進計画 策定しました

西東京市では、平成18年度から西東京市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるように読書環境の整備に取り組んでまいりました。この度、令和3年3月に「第4期西東京市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

「第4期西東京市子ども読書活動推進計画」では、5つの基本方針を設けています。

- (1) 読書環境の一層の整備と充実
- (2) 学校図書館の一層の活用
- (3) 子どもの読書に関わる諸機関や市民団体・ボランティア等との連携の推進
- (4) 子どもの読書について大人への啓発・支援と情報発信の充実
- (5) 「第4期西東京市子ども読書活動推進計画」の周知と情報発信の充実

◆図書館の今後充実していく主な取組を一部ご紹介いたします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施検討します。

◇乳幼児を対象とした取組

- ・保護者が家庭でも気軽にできるような手遊び、わらべうたの講座を定期的実施します。

◇小学生を対象とした取組

- ・小学生向けの参加型事業を実施し、図書館利用のきっかけづくりとなるような企画や、子どもたちが本の魅力や読書の楽しさを、友だちと共感しあえる企画を行うことで、継続した読書につながります。

◇YA世代を対象とした取組

- ・読書会等、本を通じてコミュニケーションを楽しむイベントや、図書館利用のきっかけとなるワークショップを実施します。

「第4期西東京市子ども読書活動推進計画」は各図書館でご覧いただけます。また、図書館ホームページにも掲載しています。

### 「えほんだいすきおはなし会」が始まりました！

3歳児  
健康診査  
受診者対象

西東京市図書館は、3～4か月児健康診査の対象の方へ絵本と子育て事業（赤ちゃんと保護者の方に、絵本を通じての親子のふれあいと、一緒に過ごす時間の楽しさや大切さを知っていただくため、絵本のプレゼントや読み聞かせを行う事業）を行っています。

その後のフォローアップとして、3歳児健康診査の対象のお子さんと保護者の方へ、絵本の読み聞かせを行う「えほんだいすきおはなし会」が、4月から谷戸図書館とひばりが丘図書館で始まりました。

健診受診後、参加を希望する館へ、希望日程の前日までに電話または来館にてお申し込みください。詳しい日程や時間については、市から送付される3歳児健康診査のご案内に同封されているちらしをご覧ください。

ぜひご参加いただき、絵本や図書館に親しむきっかけとしていただければ幸いです。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、おはなし会を中止する場合があります。最新の実施状況については、電話にてお問い合わせください。

## 図書館多文化講座（オンライン）

### 「絵本で楽しむ英語の世界」を実施しました

開催日：令和3年3月20日

英語の絵本は、英語を学ぶ大人にも、絵本が大好きな子どもたちにも、英語に触れるきっかけを与えてくれます。今回の講座は、英語教室を主宰され、英語の絵本の読み聞かせを得意とされている鈴木祐子さんを講師にお招きし、感染症拡散防止対策としてオンラインで絵本の選び方や楽しみ方をお話いただきました。さまざまなタイプの絵本の紹介、いきいきとした読み聞かせの実演、そして活発な質疑応答と、あっという間の1時間半でした。参加者の方からは、「早速手に取って自分自身が楽しみたいと思った」「紹介された絵本をさっそく借りて読み聞かせをしてみたのですが、とても子どもの食いつきが良いです」などの感想がありました。



## 図書館員の本棚

### 「こけし図譜

ーイラストレーションでわかる伝統こけしの文化・風土・意匠・工人ー

佐々木一澄／著

誠文堂新光社／2020年出版

ISBN:978-4-416-51946-2



「こけしは俳句」シンプルな木の人形からにじみ出る独特の“間”と魅力。

第3次こけしブームといわれて久しい昨今、東北6県で主に作られる11系統のこけしたち・郷土玩具を、産地ごとにあれこれ取材。

工人たちへのインタビューは制作工程に留まらず、現在までのみちのりを丁寧取材し、伝統工芸における後継者問題や東北の生活の厳し

さについても考えさせられます。

イラストレーターである著者が、『愛蔵こけし図譜』を著したこけし蒐集家・童画家の武井武雄へ捧げたオマージュ作品です。こけしに会いに工房&温泉に行った気分になれる？一冊です。愛らしくも郷愁を誘うこけしの文化にふれつつ、民芸に親しんでみては。

(図書館員Aおすすめ)

中央図書館の休館により、中央図書館に所蔵していた資料およびそれに伴うサービスの扱いは以下の通りとなります。ご不便・ご迷惑をおかけいたします。ご不明の点はお問い合わせください。

## 地域・行政資料について

中央図書館の休館に伴い、2階の地域・行政資料室も休室となります。

西東京市に関する資料は、芝久保図書館でご案内しています。資料の一部は芝久保図書館でご覧いただけます。

芝久保図書館で閲覧できる資料の主なものは、以下の通りです。

①西東京市の地図や歴史や文化等に関する資料

※ただし、田無市史や保谷市史編纂時に使用した古文書などの資料は除きます。

②田無市、保谷市、西東京市の住宅地図

③西東京市や団体の出版した資料のうち、調査時に比較的利用が多いもの。

④東京都令規集、東京都公報、都政新報など

なお、西東京市の行政資料は西東京市のホームページで公開されているものが多くありますので、ご活用ください。

また、インターネットでは、「西東京市デジタルアーカイブ」として『田無市史』『保谷市史』などの資料の公開をしていますので、こちらもぜひご覧ください。

## レファレンス (調べもの)

○中央図書館に所蔵していた「辞書・辞典・白書類」の一部、および多摩地域の住宅地図の全ては、ひばりが丘図書館に移動しています。

○中央図書館で所蔵していた朝日新聞・日本経済新聞の縮刷版は、オンラインデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」「日経テレコン21」で代用が可能です。前者は保谷駅前・柳沢・ひばりが丘図書館で、後者はひばりが丘図書館でそれぞれ利用が可能です。また、この2つのデータベースについては、ひばりが丘図書館でプリントアウトが可能です(有料)。

中央図書館所蔵の資料の多くが使えなくなる今年度は、調べものでは少し力不足な部分もあるかもしれません。みなさまから寄せられた調べものの依頼は、関係機関への調査依頼等も合わせておこない、お答えしていきます。引き続き、WEB、カウンタ、お電話でのご質問を受け付けております。

風  
神

上向台小学校5年



小さなアーティスト

利用者エッセイ

## わたしと図書館

白須賀 啓子

振り返ると、図書館は繋がり の形を変え乍らも、いつも身近な存在だったことに改めて気づく。学校図書館をフル活用していた十代。結婚後、主人の転勤に伴い移り住んだ保谷で知った地域公共図書館の魅力。その関わり方は、さながら家族史のよう。

私の図書カードは、旧下保谷図書館発行のものだ。階上の児童館で、よちよち歩きの子供と遊んだ後は階下の図書館に寄り、窓際の低い腰掛けに並んで陣取って、借りて帰る本を一緒に楽しく選んだものだった。

その後、転勤生活で長らく保谷を離れたが、その先々で使った数枚の図書カードは、懐かしい思い出が湧き出る宝物の一つである。子供の学校図書館ではPTA活動の一環で、始

業前の読み聞かせや昼休みの貸し出し小母さんにもなった。

漸く保谷に戻った時には、借りてくる本が児童書からギャラリー変。姑に、次に母に読んだのだ。本が好きだった二人も落ちる視力には抗えない。読書の楽しみの代わりに務められるのが嬉しかった。

更に今、繋がり は新しいフェーズへと。図書館音訳の会との御縁だ。やっと自分の為に時間を贅沢に使えるようになって、さて、と思っていた時に飛びこんできた市報に掲載の募集記事。「図書館音訳者養成講座開講」。これだ！と即応募。研修三年、晴れて音訳の会のメンバーに。首に掛けた名札が晴れがましい。三十年来の大先輩達に教わり乍ら、ひよこは興味津々で楽しませてもらっている。若い方々とのチーム作業も新鮮だ。姑や母に読んでいたことが社会との新しい接点へと発展したことも嬉しい。利用者さんの心に届きますようにと願いつつ。